

・コストの問題がクリアされるのであれば、最新にアップデートすれば気にする部分が少なくなって、管理者としては楽。

・古いものを使い続けることは、アップデートしなければならなくなった時に非常にストレスがかかる。

・2 年前 Linux 分科会では、当時、100%の互換性が無いと OpenOffice に移行できないというのが大多数だったが、現在ではセキュリティが最大の関心事である。要点が変わってきていると感じる。

●シンクライアントの場合

・シンクライアント導入していて、最新にアップデートということになると、ユーザはすべて最新版を利用することになる。これからどうしようか考慮中だが、もう一つターミナルサーバを立てて古いファイルはすべてそちらに移行してしまおうと思っている。そうすれば、通常ユーザは OpenOffice を利用、それ以外の有象無象があるものに関しては、特定のターミナルサーバに VM で入れてしまえば良い。JAVA カードを使えば特定のターミナルサーバに接続できる。

・互換性の問題 XML に変わった時に Office2000 では読めなくなるので、そこをどうするか考慮中である。

●シンフォニーについて

・シンフォニーは基本的に Lotus Notes に同梱されている OpenOffice である。Lotus Notes から Office 部分だけを抜き出したものがシンフォニーである。

・環境のせいもあるかもしれないが、シンフォニーは非常に重く感じる。

・シンフォニーは重くて使い物にならない。あとレイアウトが崩れる。

●OpenOffice について

・シンフォニーと比較すると OpenOffice の方が使える。しかし OpenOffice は PowerPoint にパスワードかけると、OpenOffice では開けない。自社環境のみで利用するのは良いと思うが、外部からのファイルの受け取りの際など不具合がある。

・MS-Office での不具合は心情的にユーザは許せるが、他社製品では許さない傾向にある。

・社内導入で一度 OpenOffice を検討したが、結果的には時期尚早ということで、当時は導入しなかった。互換性の問題、自社のシステムは VBA のマクロと関連性が深い。VisualBasic をクライアントに入れて、それをシステムと連携、クライアントに入っている Office ソフトと密接に連携している。OS は XP、Office も XP、IE は 6、でないと動かな

い。

・OpenOffice のシェアというのは？

→ワールドワイドで3億ダウンロード。窓の社のダウンロード数推移を見ると、3、4年で5倍ぐらいになっている。
建設業界なので、そういった部分の動きが遅いため、上記のような説得材料が有効になる。

・教育機関での利用は？

→実際に利用しているのは、数%と見られる。

・自動車業界なので、データの流通が重要。マクロに関してどのくらいのユーザが利用しているのが把握できていない。懸念されるのはその2点

・電気業界。コンバータを使って互換性は確保されるが、外部からのファイルはマクロが組み込まれてくるものがある。社内標準は OfficeXP だが、そういった外部ファイルは Office2007 と Office2003 を使い分けている。OfficeXP を PC のプリインストールで買い切りという形で導入したため、バージョンアップとなると莫大な費用がかかる。そのため OpenOffice の検討が持ち上がった。

・課題として、RMS(ライツ・マネジメントシステム)や WSS(Windows SharePoint System)は非常に良い機能だと思うが、その機能が会社にとって必要であれば、MS-Office を使い続ける必要があるが、必要ないのであれば、OpenOffice へ移行しても良いのではないか。

→社内でも WSS を使っている。それがあるので Office2007 に上げなければならないが、若干オペレーションが違うが Office2003 でも利用は可能である。全社的に Exchange の掲示板のところで WSS を導入しようという話には出ているが、まだ移行には至っていない。ライツ・マネジメントシステムに関しては NEC 本体とのやり取りの場合に必要なことがあるが、まだ一般的には拡がりがない。

確かに、セキュリティの相当厳しい企業でないと、RMS に関してはそれほど利用されていないが、4、5 年後にはどうなっているか分からない。

→企業内の 1 グループでの RMS 利用ということであれば、それは環境構築が可能だと思うが、異なる企業間では、まだ使えないと思う。

RMS も WSS も MS-Office だけでは利用できない。CAL が必要になるが、このライセンス料も非常に高額である。ボリュームライセンスでエンタープライズ CAL とかで購入しないと安くできない。あと RMS は PDF ができない。

・PowerPoint のレイアウトが崩れるのはどうにかならないか？

→オブジェクトをつなぐコネクタとか、そのあたりがどうしても崩れてしまうところが、修正されていないのは事実。ファイルのやり取りは PDF に変換して行なうとか、そういった割り切りで利用しているところはある。あと、現在ではファイルのやり取りは Excel より PowerPoint が多い。OpenOffice の互換性は Excel 寄りである。まだまだダメなと

ころはあるが、運用で何とかするという工夫も必要。

■ OpenOffice に関する Q&A

Q: MS-Office に UI の体裁をあわせる必要があるのか？

A: ちょっと前までは、完全互換というのが言われていたが、現在はだいぶ変わってきている。Office2007 ですら、変わってきているのだから、そういう意味ではそれほど問題ではない。

Q: 描画ツールの他に Visio があるが、これの互換はどうか？ MS が買収してしまったというもある。

A: Visio については PowerPoint でも出来るが、Visio そのものはファイルフォーマットがクローズドのままで、どうしようもない。

Q: テキストファイルとの関連付けは OpenOffice ではどうなるのか？

A: 1 つのパイナリの中にすべてのツールが統合されているため、新規作成するとすべてのツールが出てくる。というわけで Excel に読み込みたくても Word で読み込まれてしまう。メニューからファイルの読み込みができたと思う。

Q: PowerPoint の互換性は Office2007 でもやはり難しいのか？

A: それぞれ、どのバージョンで作ったレイアウト、とかそういったことが効いているのだと思うが、個別の現象については把握できていない。HTML の編集ソフトのように、古い HTML ファイルが新しい HTML タグの中に入れ子になっていくように、OpenOffice でも同様の現象が起きていると思われる。MS-Office の PowerPoint でレイアウト崩れが起きないのは、最新バージョンに古いバージョンのファイルを包含しているから。そうしないと、担保できないはず。

Q: Office2003 と OpenOffice ではファイルサイズとしてはどのくらいの差があるのか？

A: 約 1/5 である。圧縮率が違う。

Q: 先ほど、入れ子の話が出ていたが、全くの新規作成の Office2007 のファイルなら OpenOffice でもレイアウト崩れは起きないということか？

A: 評価するファイルの質がどうだったのかということが互換性の面で重要になってくると思うが、全くの新規作成のファイルであれば、大分違うと考えられる。そもそも PowerPoint のデータは、ごちゃごちゃと色々やる傾向にあるので、崩れやすいが、エンドユーザにそこまで考慮してレイアウトしろというのも酷である。

Q: 社外のフォーマットが PDF と決まっているなら問題ないが、必ずしもそうではない。社内基準ではなく社外基準だと思うがどうか。共有で修正更新が入る場合もある。

A: 見栄えを重視するか、ファイルフォーマットを重視するかの違いであると考ええる。定型のフォーマットに流し込む

だけなら、それほどトラブルも起きないのではないかな。

→そういう意味でいうと、客先で一番多い形式は Office2002(XP)である。

Q: 描画ツールの使い道がどういった場面で行なわれるのかが分からない。OpenOffice を利用しているが、立ち上がりが遅いため、ユーザもだんだん使わなくなってきたという状況がある。

A: 描画ツールはどの Office ツールでもついている機能なので、利用したい場面で利用すれば良いということ。また、OpenOffice の立ち上がりが遅いと感じるのは、MS-Office に関して、WindowsOS がすでに半分 Office を立ち上げた状態にっていて、それによる体感速度の速さを感じていると考えられる。OpenOffice にもそこを補完する機能があつて、常駐機能がある。これを使えば立ち上がりも早い。

Q: OpenOffice のファイルを MS-Office で読み込むことは？

A: OpenOffice を読み込むというのではなく、ODF を読み込むことができるようになっている。

【結論】

- OpenOffice のネックは、PowerPoint との互換性(図形レイアウトのズレ)と、印刷である。
- MS-Office と OpenOffice との併用は、運用的には難しい。
- 互換性の面は運用でカバーするなどの工夫。